

---

# ちぎれ雲と忍

怜

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

ちぎれ雲と忍

### 【Nコード】

N5271S

### 【作者名】

怜

### 【あらすじ】

戦国の世は…恋人の忍達に何をもたらすのか。

道具である忍に…平穩は訪れ無いのであろうか。

(前書き)

この話は作者がつくった架空の戦国時代だと思って下さい。

あとおもいつきり死ネタです。

流血もあるので苦手な方はUターンお願いします。

『しょうがないよ。だって私達…忍だよ？』

それが彼女の口癖だった。

俺：黒威と奈々は同じ里の忍者だった。

物心ついた時から一緒にいて…

一緒に飯食って。一緒に修行して。

いつも一緒だった。

こんな事があった。

武士の家庭の子供と俺がケンカした時、回りの大人は全員俺が悪いと決めつけた。

あまりにも理不尽だと思ったが奈々が言った。

『しょうがないよ。だって私達…忍だよ？』

その時の奈々の顔があまりにも寂しそうで俺は何も言えなくなった。

そんな奈々と俺は成長していくに連れて自然と恋仲になった。

奈々はそれを望んでくれたし俺もそれを望んでた。

けど…ずっと里にいれる訳でも無かった。

俺は先祖代々仕えるべき主が決まっている。

俺は里を出る。

奈々を置いて。

本当は行きたくなんかなかった。

奈々と離れるなんて絶対嫌だった。

けど…許されるハズも無く…。

大した別れも言えずに俺と奈々は離ればなれになった。

それが5年前の話。

今では俺は完璧に忍だと思っ。

主の為の心の無い道具。

人を殺したって何も感じない。

これが俺の仕事だから。

俺は戦忍だから戦場にも出て人を殺す。

そして今回の戦もある程度の数の人を殺して終わるハズだった。

「主…！？」

本陣に戻り主に報告しようとした所…主が血塗れになって倒れていた。

かろうじて息はしている。

そんな主のすぐ傍に立っていたのは…

「…奈々？」

5年ぶりに会う…恋人だった。

「…黒威？」

奈々も俺に気づいた様だ。

「何で…お前…！？」

奈々に主を攻撃した訳を問おうとした時…

「くのーが紛れ込んだぞ殺せ…！」

「絶対に殺すんだ…！」

本陣の近くから怒鳴り声。

理解した。

ここは戦場。

そして奈々は主を攻撃した。

奈々は…俺の敵。

「…黒威。構えて。」

奈々は何も言わずにクナイを構えた。

「なっ…!？」

思わず奈々の顔を見る。

見た事に後悔した。

奈々のこの眼は…殺される事を望んでる。

「黒威…私もう嫌だ…。人殺しなんて…やりたくない…。」

…奈々は忍になりきれていない。

もちろん俺もなりきれてるとは言い難い。

「ねえ…黒威。」

奈々の眼が俺を射抜く。

「私と…闘って…!」

忍としての苦痛に…俺も奈々も…

堪えきれていないんだ。

「本当に殺り合わなきゃ…いけないのか？」

奈々に聞く。

奈々は頷いた。

そして…いつもの口癖を言った。

「しょうがないよ。だって私達…忍だよ？」

聞きたく無かった。

そんな言葉。

泣きそうな顔で…そんな事言っな。

俺も無言でクナイを構える。

それを合図に奈々が駆け出す。



俺も駆け出し…

2つの影が…すれ違った。

ビッ！

俺の頬が切れて血が流れる。

「……………」

ゆっくりと振り返ると…

奈々が血だまりの中で倒れていた。

もう息はしていない。

けどその表情は…

「笑いながら…死ぬなよ。」

笑ってた。

その笑顔がとても綺麗で…

ただただ…虚しかった。

血を洗い流す様に雨が降りだした。

「…いい天気だな。」

先日の雨が嘘の様に太陽が綺麗に輝いていた。

…あの後主も死んだ。

血が流れ過ぎて間に合わなかったらしい。

木に背を預けて空を眺める。

何処までも続いていく青空。

その中にポツンと白いちぎれ雲が浮かんでいる。

「…俺みたいだな。」

もう帰る場所も…向かう場所も無い。

俺のようなちぎれ雲。

風が流れる。

『もし…もしさ！生まれ変われたら…私達忍じゃ無かったら良いね』

ふと風に乗って聞こえた奈々の声に…

涙が溢れて止まらなかった。

(後書き)

やってしまった死ネタです。

忍設定は作者が好きです。。

感想を下されると泣いて喜びます。。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n5271s/>

---

ちぎれ雲と忍

2011年6月12日12時05分発行